

---

# 山梨大学教育人間科学部附属教育実践総合センター センターだより 第53号 (通巻第120号)

---

2006年11月21日  
山梨大学教育人間科学部  
附属教育実践総合センター  
TEL 055-220-8325, FAX 055-220-8790  
E-mail: jissen@sazanka.aj3.yamanashi.ac.jp  
URL: <http://www.cer.yamanashi.ac.jp/>

## ■ 実践センター E-Learning システム (JEL システム) 稼働のお知らせ

来年度から総合情報処理センター (IPC) で本運用される E-learning システムは、IPC 現有の有償のものと異なり、無償ソフト moodle によるものとなります。そこで、IPC での来年度の本運用に本学部教員がすぐに参加できるように、実践センターでは moodle による E-learning システムを稼働させ、試用していただく場を設けましたので、ここにお知らせします。

実践センターのこのシステムは、JEL (Jissen E-Learning) システムと呼称します。JEL システムは、Web ブラウザから

<http://jel.aj3.yamanashi.ac.jp/moodle-m/>

にアクセスしてご利用になれます。ユーザ登録は各自ででき、コース (授業科目) への「学生」としての参加は自由にできます。コースの新規作成とコース担当の「教員」の割り当ては、JEL 管理者が行いますので、実践センターまでメール ([jissen@sazanka.aj3.yamanashi.ac.jp](mailto:jissen@sazanka.aj3.yamanashi.ac.jp)) でご連絡ください。数式の記述は TeX 方式で簡便にできます。それについては

<http://jel.aj3.yamanashi.ac.jp/mimetex.html>

をご参照ください。

なお、JEL システムは、エントリーレベルサーバ上で運用しており、特にハードディスクの容量と物理的信頼性は十分ではなく、JEL 上に置いたデータの安全性は保証できませんので、あくまで試用としてお使いいただくようお願いいたします。

## ■ 第3回地域貢献教育研究会のご報告

11月13日 (月)、県総合教育センターにおいて、第3回地域貢献教育研究会を開催しました。今回は、総合教育センターからの情報及び研究の紹介ということで、三井誠主幹研修主事から「主事研究『国語力向上グループ』のこれまでの研究を振り返って～総合的・理論的研究の立場から～」と題した発表がありました。「教科、道徳を通した国語力向上の研究」を主題に、昨年度に引き続き、国語科の時間ばかりではなく各教科及び道徳を通しての国語力向上に関する研究を継続・推進しているとのことでした。特に、国語力の中核として「論理的思考力」と「相互向上コミュニケーション能力」を抽出し、グループ構成員個々の研究授業の実践・検証をより重視し、教員アンケート調査も踏まえる中で研究の深化を図っているとの説明がありました。研究会では、調査結果や国語力が求められる理由等についての質疑応答の後、本学国語教育講座岩永正史教授から、論理的思考力やコミュニケーション能力をどうとらえたらいいのか、具体的な授業段階でどうすればよいのか等についての助言がありました。次回12月20日 (水) には、総合教育センターからの「算数プロジェクトの取り組み」の発表をもとに研究を深める予定です。

## ■ 第4回教育臨床研究会のお知らせ

第4回教育臨床研究会を12月5日（火）10:30～12:30にJ号館4階授業研究演習室で行います。今回は「特別な教育的ニーズへの支援を考える～英語の指導～」として、辻由樹氏（山梨大学大学院・勝沼中学校教諭）を講師に迎え、実施します。関心のある方は是非お出かけください。申し込みは不要です。

## ■ 「教師のための教育相談」の報告書提出のお願い（随時受け付けています）

報告用紙は庶務事務室入り口左手の共通レターケースの中にあります。提出は鳥海のレターケースまで。

## ■ 第3回期間採用者等研修のご案内

下記の要領で、今年度の「第3回期間採用者等研修」を実施します。次年度期間採用者を予定している学部生、卒業生など研修を受けたい方はどなたでも参加でき、受講料は無料です。関係者に広くご紹介ください。

日 時：平成18年12月2日（土） 9:30～15:30（一部17:30）

集合場所：山梨大学 教育人間科学部 J号館5階 A会議室

プログラム：研 修 1（講 演）

「教師力の向上を目指すために」：坂本 悦子氏（前甲府南高等学校校長）

研 修 2（校種別研修）

「児童・生徒理解と学級・ホームルームづくりの実践」

小学校教育 : 宮崎 靖氏（峡東教育事務所副主幹）

中学校教育 : 佐藤喜美子氏（笛吹市立浅川中学校教頭）

高等学校教育 : 三森 克人氏（甲府西高等学校教諭）

特別支援教育 : 青木 洋子氏（附属養護学校教諭）

特別研修（希望者のみ）

「教育現場の今日的課題」 曾根 修一氏（本学客員教授）

申し込み方法：FAX：055-220-8790、 TEL：055-220-8325、

Web：<http://www.cer.yamanashi.ac.jp/>、

メール：[jissen@sazanka.aj3.yamanashi.ac.jp](mailto:jissen@sazanka.aj3.yamanashi.ac.jp) のいずれかで。

## ■ 情報教育研究部門担当山梨大学戦略的プロジェクトの進捗状況について

当センター情報教育研究部門では、平成17年度戦略的プロジェクト「高等学校新教科「情報」担当教員支援」の後継事業として、今年度「情報通信技術を活用した教育実践・カリキュラム開発支援」を推進しております。

このプロジェクトの事業の一環として、山梨県高等学校教育研究会情報科部会と連携して、授業研究（事前検討会・研究授業・授業検討会）を実施する計画をたてていますが、11月9日（木）に第1回授業研究委員会が開かれ、本センターからは山下助教授、成田助教授が参加しました。研究授業の概要を検討し、平成19年1月15日（月）に石和高等学校の常盤武史教諭を授業者とするなど決定しました。今後、12月8日（金）に第2回授業研究委員会が開かれ、学習指導案や教材を検討し、研究授業が開かれますが、教育実践総合センターではこの取り組みに対し、指導助言者として支援していきます。また、この授業研究の前後における教育情報交換などの目的で、e-Learningが有効に活用できるかどうか検討をすすめています。

高等学校情報科に加え，高等学校数学科についても教育実践・カリキュラム開発支援をすすめるため，9月26日（火），11月1日（水），11月15日（水）に，山梨県高等学校教育研究会数学部会の市川今朝則部会長（山梨県立日川高等学校長）をはじめ同会役員らに，成田助教授が支援事業案について説明，協議しました。

※「センターだより」第51号（通巻第118号 2006年7月21日発行）においてこのプロジェクトの報告をしていますが，日程に誤りがありました。山梨県高等学校教育研究会情報科部会の第1回理事会・総会を，6月15日（木）と記しましたが，正しい開催日は7月5日（水）です。お詫びするとともに，ここに訂正させていただきます。

## ■ 第69回教育実践研究関連センター協議会のご報告

11月2日（木）、京都市の「キャンパスプラザ京都」において、第69回教育実践関連センター協議会が開催され、本センターからは、勢田センター長、鳥海専任教員、澤登専任教員の3名が出席しました。総会に引き続き、「教職大学院の制度設計と今後の展開」と題して、京都教育大学教育学部堀内孜教授から講演がありました。また、午後からは「大学と教育委員会の連携と学校現場への支援・貢献の関わり」「教職大学院の設置計画とセンターとの関わり」「大学・学部の教育改善におけるセンターとの関わり」の3つの課題別ワークショップ形式の協議を行いました。引き続いての部門会議では、「教育臨床部門」「教育実践・教師教育部門」「教育工学・情報教育部門」に分かれて、それぞれ意見交換、情報交換、及び協議を行いました。